

広報

ひこね

2013

3/1

特集

守りましょう
自転車のルール

- 湖東・湖北医療ネットが稼働します 6
- 後期高齢者医療からのお知らせ
肺炎球菌ワクチン予防接種費用の
一部を助成します 7
- 市役所本庁舎の耐震化整備事業 8
- 募集 彦根城博物館 支援スタッフ . . . 14
- 募集 彦根ユネスコ協会会員 . . . 16
- 3月は自殺対策強化月間です . . . 24



▲自転車等放置禁止区域に放置されていた自転車

放置自転車とは、駅前や歩道など、指定された場所以外に止められた自転車のことです。車でいうと「駐車違反」にあたります。「ちよつと置いてだけ」といった自転車でも、周囲にたくさんさんの悪影響をもたらしています。

例えば、歩道に自転車がたくさん止めてあると、子どもや高齢者が自転車でぶつかってしまったり、車いすに乗った人やベビーカーを押す人が

自転車は駐輪場へ

守ろう！自転車のルール①

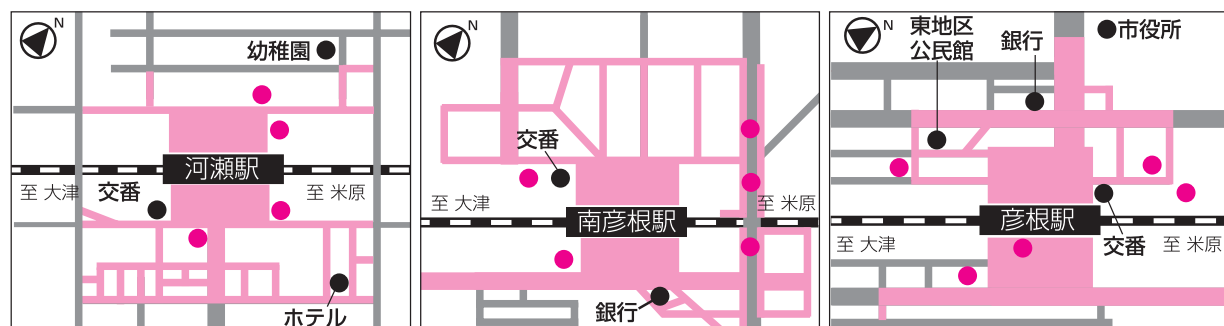


スムーズに通れず、とても危険です。

また、止めてある自転車が倒れて、点字ブロックを塞いでしまったら、目の不自由な人は安全に通行することができなくなります。

彦根市では、条例で彦根駅前、南彦根駅前および河瀬駅前を「自転車等放置禁止区域」と定めています。その区域は下図のとおりです。

暖かくなる春先や夏場は自転車を利用する人が多く、条例に違反する放置自転車は後を断ちません。



● 駐輪場
■ 自転車等放置禁止区域

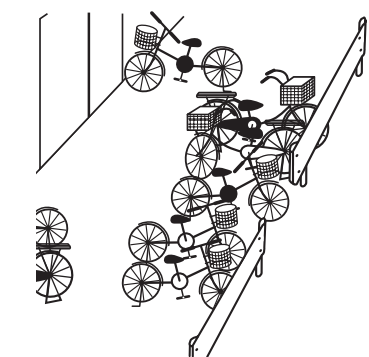
自転車の盗難に注意



撤去した放置自転車の中には、盗難被害にあった自転車も多く見られます。そのほとんどが、鍵を掛けなかったことによるものです。

さらに、盗難に遭った人でも、「どうせ見つからないし、探すのが面倒だ」といった理由から、警察に盗難届を提出しないケースが増えています。

盗難に遭わないために、自転車は駐輪場に止め、二重に鍵を掛けましょう。万が一盗難に遭った場合は、すぐに盗難届を警察署や交番に提出してください。



▲公園に放置されていた自転車

禁止区域外でも放置しないで

最近では、禁止区域以外の道路路上に放置される自転車の

数も増加しています。

また、公園などに放置されている自転車も増えていきます。放置自転車は私たちのまちの美観を損ねています。

守りましょう

自転車のルール

彦根市では平成24年4～12月に

放置自転車撤去 412台

数年前から減ってはいるものの、

撤去を何度繰り返しても、ルールを守らない人が後を絶ちません。

自転車事故 136件

交通事故全体の約20%を占めています。自転車を運転している人が

加害者になったケースもあります。

自転車盗難 531件

このうち、自転車に鍵を掛けていなかったケースが333件。60%以上を占めています。

▲放置自転車の撤去作業（彦根駅前）



自転車は、あなたにとってどんな乗り物ですか。

運転免許がいらないため、練習さえすれば簡単に乗ることのできる便利な乗り物だと思っている人も多いのではないのでしょうか。

自転車は、軽車両といって道路交通法上では車の仲間です。自転車にも、自動車と同じように守らなければならないルールがたくさんあります。

「たかが、自転車」と考え、駐輪ルールを無視して放置した自転車や、交通ルールを守らずに運転している自転車によって、たくさんの人の安全が脅かされています。

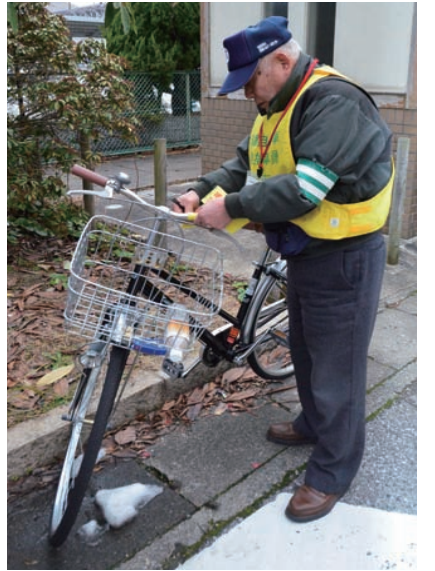
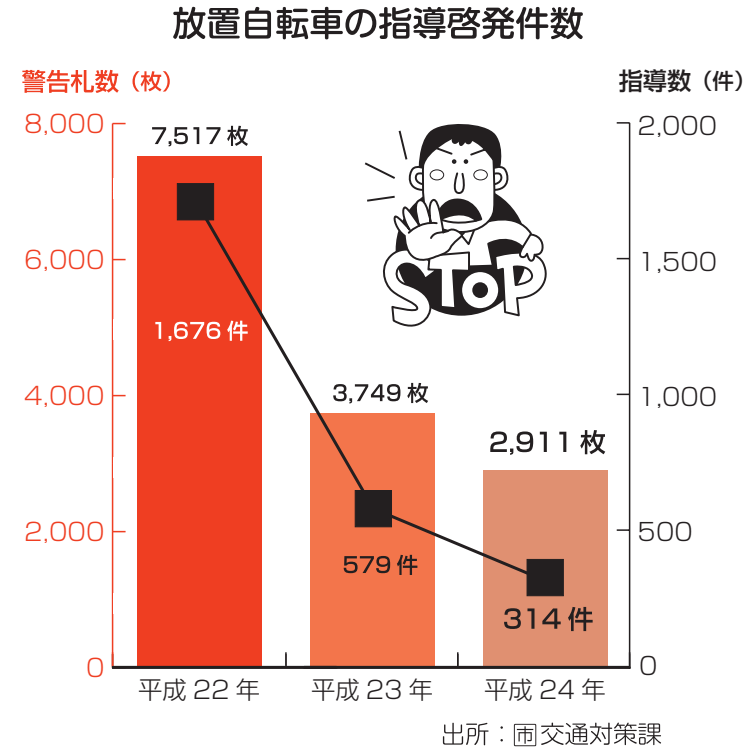
自転車の事故で損害賠償の責任が問われた事例もあります。今一度、自転車の正しい利用方法を見直しましょう。

問い合わせ先 困交通対策課 ☎30・6134番、FAX24・8517番

放置自転車ゼロを目指して

放置自転車をなくすために、平成22年度から「放置自転車啓発指導員」が、啓発や指導などを行っています。

この取り組みによって、放置自転車に貼られる「警告札」数や、自転車を放置した人に対して直接指導をする件数が左表のように大きく減りました。



▲放置禁止区域内の自転車には警告札を貼って啓発しています

また、自転車等放置禁止区域に放置された自転車の撤去

も行っています。平成23年度から毎月の撤去回数を増やし、積極的に放置自転車をなくすために取り組んでいます。

撤去された自転車は、ひこね燦ばれす横の放置自転車保管所で一定期間保管したあと、引き取りがない場合は彦根市が処分しています。

最近では、持ち主に引き取られる放置自転車が少なく、多くを処分しています。自転車を昔に比べて安く購入できるようになったこともあり、使い捨ての感覚で利用している人が増えているものと考えられます。

撤去した自転車の中には、新しくまだじゅうぶん使うことができそうな自転車も含まれています。自転車を大切にマナーを守って利用しましょう。

彦根の玄関をきれいに

放置自転車啓発指導員 北川 正治さん(77)



少し前までは、彦根駅周辺には数えきれないほどの放置自転車が止められ、決してきれいなまちはと言えませんでした。

「たかが自転車くらい」と思うかもしれませんが、彦根の玄関口である彦根駅周辺に放置された自転車は見苦しく、訪れる人にまちの印象を悪くします。中には点字ブロックを塞ぐ自転車もあり、障害のある人がぶつかることもあって、とても危険でした。

朝は忙しいこともあって、駅やお店の入口にできるだけ近い場所に自転車を止めたい気持ちも理解できますが、どうか周囲の人や彦根のまちのことを考えて、自転車は決められた場所に止めてほしいと思います。

私たちは、観光地でもある彦根のまちがきれいになって、市民の皆さんや観光で訪れる人たちに喜んでほしいとがんばってきました。

確かに、昔に比べると、自転車に対するマナーが皆さんに浸透してきたと感じています。しかし、いまだにルールを守れない人が多いことは本当に残念です。マナーを守らない人が少しでも減っていくように、これからも粘り強く取り組みを続けていきます。

守ろう！自転車のルール②

危険な運転はやめましょう

自転車に乗るときには、自動車のルールに加えて、自転車特有のルールも守らなければなりません。

しかし、市内でも自転車のルールを無視した危険な利用者が多く見られます。被害者にも加害者にもならないために、自転車安全利用五則をきちんと守りましょう。

自転車安全利用五則

- ①自転車は車道が原則、歩道は例外
- ②車道は左側を通行
- ③歩道は歩行者優先、車道寄りを通行
- ④交通ルールを守る

禁止されていること

2人乗り、携帯電話を使いながらの運転、イヤホンで音楽などを聞きながらの運転、傘さし運転、2台以上が横に並んでの運転、飲酒運転、夕方以降の無灯火運転 など

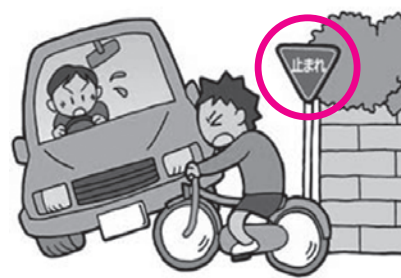
- ⑤子どもはヘルメットを着用
安全のために、大人もつけましょう。

安全確認はあなた自身で

道路の状況は、常に変わります。さつきは来なくても、今、あなたが通ろうとする瞬間に、車が来るかもしれません。

「来ないだろう」ではなくて、常に「右や左から車や人が来るかもしれない」と考えて、道路や交差点を渡るときには、一旦止まって必ず確認をしましょう。

安全確認は、他人に任せず、



▲自転車も標識のルールを守りましょう

あなた自身で確実にしましょう。

自転車事故の悲劇 ～損害賠償が5,000万円～

判決（横浜地方裁判所 平成17年11月25日）

高校生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で走行中、前を歩いていた女性と衝突。女性には、歩行が困難になるほどの障害が残った。高校生は損害賠償として、5,000万円の支払いを命じられた。

自転車を運転しているのがたとえ子どもや学生でも、事故を起こして加害者になれば、自動車と同じように損害賠償などの責任が問われます。自転車の利用者が加害者となる重傷事故や死亡事故が滋賀県内でも発生していますので、交通ルールを守り安全運転を心がけましょう。

また、万が一の事故に備え、損害賠償保険の加入も検討しましょう。

湖東・湖北医療ネットが稼働します

市健康推進課

4月から、彦根市立病院・市立長浜病院・長浜赤十字病院に入院・外来受診した患者さんの診療に関する情報(※)を医療機関で共有できる医療連携ネットワーク(湖東・湖北医療ネット)が稼働します。共有先である湖東・湖北地域内で参加する病院や診療所は、この診療情報を利用して、これまでより安心・安全かつ適切な医療を提供することができます。

このネットワークは、患者情報が外部に漏れないよう暗号化して厳格に情報を保護する仕組みを構築していますので、安心して利用することができます。

また、診療情報は、事前に同意いただいた患者さんの情報に限り利用します。詳しくは、湖東・湖北医療



後期高齢者医療からのお知らせ

肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部を助成します

市保険年金課

肺炎球菌ワクチンは、肺炎の中で最も多い原因菌である「肺炎球菌」を防ぐワクチンです。免疫効果は、接種後5年間有効といわれています。

助成内容

実施期間 通年

対象 後期高齢者医療の被保険者で、医師が接種を認める人

接種方法 滋賀県内の医療機関に直接予約し、備え付けの問診票に必要事項を書いてください。

助成金額 3千円

自己負担額 接種費用は医療機関により異なります。接種費用から助成金額を差し引いた額をお支払いください。

持ち物 後期高齢者医療被保険者証

注意事項

▼予防接種を実施していない医療機関もありますので、事前にご確認ください。
▼この予防接種は、あくまでも接種を希望する人に行う

ネット整備運営事務局(滋賀県長浜保健所 ☎0749-65-6660番)にお問い合わせください。

※血液検査結果、CT(コンピュータ断層撮影)やエックス線写真、薬の処方内容など

問い合わせ先 市健康推進課 ☎24・0816番、FAX 24・5870番

制定しました
空き家の所有者などに
適正管理を促す条例

市建築指導課



近年、急速な少子高齢化や家族の世帯分離による遠隔地への居住などにより、適正な管理が行われないまま放置された空き家などが、防災や防犯の面から隣接する建物や周辺に悪影響を及ぼす事例が多

く見られるようになりました。そこで、彦根市では、このような空き家などの問題を解消するため、所有者などに対し、適正な管理を求める助言、指導、勧告、命令を規定しました。

さらに、命令に従わない場合は所有者の名前や住所などを公表するなど、所有者などに対して適正な管理を強く促すこととしました。

この条例は、4月1日(月)から施行します。

問い合わせ先 市建築指導課 ☎30・6125番、FAX 24・8517番

税の申告はお忘れなく

市税務課

申告はお早めに

期限間近になると、申告会場は混雑しますので、申告は早めにお済ませください。消費税の申告のご相談には、決算書・収支内訳書(控)を持ってきてください。郵送での提出もできます。

▼所得税・贈与税の確定申告書の提出期限 3月15日(金)
▼市・県民税の申告期限 3月15日(金)

▼個人事業者の消費税・地方消費税の確定申告書の提出



期限 4月1日(月)

期限内に納税を

必ず期限内に納税を済ませましょう。期限を過ぎると、年14.6%(納期限の翌日から2か月は4.3%)の割合で延滞税の納付が必要となる場合があります。

▼所得税・贈与税の納付期限 3月15日(金)

▼個人事業者の消費税・地方消費税の納付期限 4月1日(月)

振替納税制度のご利用を

納税には、安全で確実な金融機関からの振替納税制度の利用をお勧めします。

振替納税の場合の納付日(口座引落日)

▼所得税 4月22日(月)
▼個人事業者の消費税・地方消費税 4月24日(水)

問い合わせ先

所得税・贈与税・消費税について 彦根税務署 ☎22・7640番(自動音声案内)



ます。簡易書留で郵送しますので、受け取りには印鑑が必要です。

高齢受給者証

70歳から74歳の人には、保険証の他に高齢受給者証を交付しています。現在お持ちの「1割負担」の高齢受給者証は、4月1日(月)以降使用できなくなります。新しい高齢受給者証は、保険証とは別に3月中に送ります。

「3割負担」の高齢受給者証をお持ちの人は、有効期限が7月末となっておりますのでそのままお使いください。

4月1日(月)から、新しい保険証・高齢受給者証が届かないときは、お問い合わせください。

問い合わせ先 市保険年金課 ☎30・6112番、FAX 21・2220番

国民健康保険の加入者が就職した場合の手続き

市保険年金課

就職して、勤務先で健康保



4月1日(月)から
県内一斉に実施します
レジ袋の無料配布中止

県循環社会推進課

これまで、県や彦根市を含む県内の市町では、関係団体(※)とともに、レジ袋を削減するためにマイバッグなどの持参運動を推進してきました。このたび、さらなる取り組みを進めるために、事業者、県

市・県民税について 市税務課 市民税係 ☎30・6140番、FAX 22・1398番

配布します
平成25年度ごみ等収集カレンダー

市清掃センター

4月1日(月)からお使いいただく「平成25年度ごみ等の収集カレンダー」を広報ひこね3月1日号と一緒に配布しますので、大切に保管してください。

市清掃センター、困生活環境課(市役所1階、支所、各出張所でもお渡ししています。彦根市ホームページにも3月中旬ごろに掲載する予定です。問い合わせ先 市清掃センター ☎22・2734番、FAX 24・7787番



民団体、行政の3者の協定により、レジ袋の無料配布を県内一斉に中止することとしました。

レジ袋の削減はごみの減量だけでなく、省資源や地球温暖化の防止につながるものです。

買い物にマイバッグを持っていって行動をきっかけとして、地球にやさしいライフスタイルを考えてみましょう。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

※県内の小売り事業者、環境に関する取り組みをしている団体など

問い合わせ先 買い物ごみ減量推進フォーラムしが事務局(県循環社会推進課内) ☎077・528・3472番、FAX 077・528・4845番

おわびと訂正

広報ひこね2月15日号の8ページにある「権利擁護・虐待予防講演会」の「高齢者・障害者くらしについて無料相談」の終了時間が「17:30まで」とあるのは「17:00まで」の誤りでした。おわびして訂正します。

**住所が変わるときには
届出が必要です**

市市民課

これから、引っ越しなどが
多くなる時期を迎えます。
転入・転出・転居により住
所が変わる場合は手続きが必



**平成25年度
水質検査計画を策定**

大藪浄水場

より良質で安全な水道水を
供給するため、水質検査の項
目や回数を定めた「水質検査
計画」に基づいて水質を検査
しています。

今回、平成25年度の計画を
策定しましたので公表します。
公表場所 情報公開コーナ
(市役所1階)、彦根市ホー
ムページ

問い合わせ先 市上下水道部
大藪浄水場 ☎22・3324
番、FAX23・9097番

**休日窓口もご利用くださ
い**

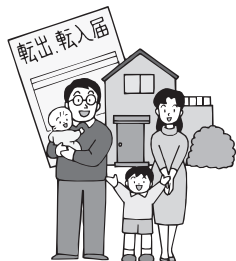
市市民課では、次のと
おり休日窓口を開設しま
す。

開設日時 3月24日(日)・
同30日(土)・同31日(日)・
4月7日(日) 午前8時
30分～正午

この休日窓口では、転入・
転出・転居の手続きや、住民
票・印鑑登録証明書の発行
などを行います(住民基本台帳
ネットワークを使用する業務、住
民基本台帳カードを利用した特別
転入・転出などはできません)。

休日窓口の業務内容など詳
しくは、広報ひこね2月15日
号1ページをご覧ください。

問い合わせ先 市市民課 ☎
30・6111番、FAX22・
1398番



種類	どんな時に必要か	届出期間	持ち物
転入届	他の市区町村や国 外から彦根市に 引っ越した	新住所に 住み始めた日 から14日以内	▶転出証明書(旧住所の市区町村で発行) ▶窓口に来られる人の本人確認書類(※) ▶窓口に来られる人と彦根市において同一世帯でない人の 転入届は、委任状が必要 ※住民基本台帳カードを持っている人は、特例による転入 届ができますが、前住所での転出届が必要です。
転居届	彦根市内で引っ越 した	新住所に 住み始めた日 から14日以内	▶窓口に来られる人の本人確認書類(※) ▶窓口に来られる人と同一世帯でない人の転居届は、委 任状が必要 ▶国民健康保険証(加入している人のみ) ▶介護保険証(加入している人のみ) ▶写真付き住民基本台帳カード(持っている人のみ)
転出届	彦根市から他の市 区町村や国外に 引っ越す	転出(予定)日 のおよそ14日前 から転出後14 日以内	▶窓口に来られる人の本人確認書類(※) ▶窓口に来られる人と彦根市において同一世帯でない人の 転出届は、委任状が必要 ▶印鑑登録証(登録している人のみ) ▶国民健康保険証(加入している人のみ) ▶介護保険証(加入している人のみ) ▶後期高齢者医療被保険者証(該当する人のみ) ▶住民基本台帳カード(持っている人のみ)

注意点 ◆国外からの転入は、転出証明書の代わりにパスポート、戸籍の附票(本籍が彦根市でない人のみ)が必要
◆同居人として転入、または転居する時は、世帯主の同意が必要

※窓口に来られる人の本人確認ができる書類

- ①運転免許証、写真付き住民基本台帳カード、パスポート、身体障害者手帳など官公署が発行した書類(写真付き)のいずれか1点
 - ②ア【健康保険証、介護保険証、住民基本台帳カード(写真なし)、印鑑登録証など】のいずれか2点
イ【学生証、法人が発行した身分証明書など】のいずれか1点と上記アのいずれか1点
- ※いずれもお持ちでない場合は、後日、本人あてに届出があったことを通知します。

**市役所本庁舎の
耐震化整備事業**

市公有財産管理室



▲市役所本庁舎の耐震化を行う整備計画の設計
に取り組んでいます

市役所本庁舎は昭和47年に
建築した建物で、完成から40
年が経過しました。

このため、建物の老朽化や
耐震強度を調査する耐震診断
の実施、本庁舎の整備に向け
た基本計画の策定など、庁舎
の耐震化の検討を重ねてきま
した。

平成24年度には本庁舎耐震
化整備事業を計画的に進める
ため、庁内で整備計画を調整
しながら、実施設計業務に取
り組んでいます。

また、庁舎の耐震化に関連
して、今後予定される工事期
間中に事務室(仮庁舎)の一部

**危機管理室の
事務所が移転します**

市危機管理室

として活用するため、中央町
の民間ビルを昨年末に取得し
たところです。

今後、整備計画が決まりま
したら、工事の全体計画や事
業スケジュールなどについて
市民の皆さんにお知らせしま
す。ご理解とご協力をお願い
します。

問い合わせ先 市公有財産管
理室 ☎30・6114番、F
AX22・1398番

災害が起こったときに、彦
根市の職員が迅速に初動対応
できるように、防災行政無線
の整備をすすめています。

これにあわせ、彦根市の災
害対策本部室を3月末までに
「中央町仮庁舎」に設置する予
定です。

また、この災害対策本部室
の設置に先立ち、市危機管理
室が「中央町仮庁舎」に移転
します。

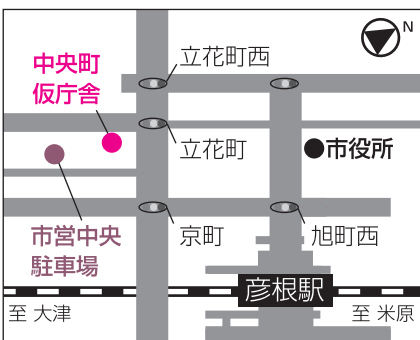
移転日 3月1日(金)
移転場所 中央町仮庁舎(中
央町26 下図)

※直通の電話番号(☎30・61
50番)は変わりません。

※施設内には駐車場もありま



▲立花町の交差点付近にある、写真中央の白色
を基調とした建物が「中央町仮庁舎」



すが、敷地内駐車場の改修
工事を3月末まで行います。
工事期間中の車での来館は、
市営中央駐車場(京町1丁目
127)をご利用ください。

問い合わせ先 市危機管理室
☎30・6150番、FAX
22・1398番

**ダムからの放流に
注意しましょう**

市危機管理室



愛知川など
の大きな河川
の上流(山間部
のみ)では、降
雨や急な気温
の上昇により、
山間部の雪が
とけてダムに流れる水量が急
激に増加し、ダムから放流を
されることがあります。

河川内で釣りなどをして遊
んでいるときは、天気予報や
「上流の山に雲がかかっている
いか」「川の水位が上がって
きていないか」などに注意し
ましょう。

サイレンや放送などの警報
があるときは、危険ですから
すみやかに河川内から出てく
ださい。

問い合わせ先 市危機管理室
☎30・6150番、FAX
22・1398番

**公表しました
「平成24年度彦根市水道
事業事業評価報告書」**

市上下水道総務課

水道事業は、「彦根市水道事
業第2期中期経営計画」に基

づき、経営健全化への取り組
みを進めています。

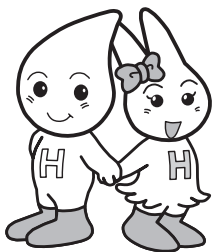
この取り組みの一つとして、
公募委員や有識者で構成する
「彦根市水道事業評価委員会」
を設置し、事業評価制度を実
施しています。

この事業評価制度は、水道
事業を彦根市の外部から評価
し、その結果を公営企業とし
ての経営に生かすためのもの
です。

平成24年度には、合計5回
の委員会を開催し、平成23年
度事業の評価結果を「平成24
年度彦根市水道事業事業
評価報告書」としてまとめま
した。

公表場所 情報公開コーナ
(市役所1階、市上下水道部
窓口(市民会館1階、彦根市
ホームページ)

問い合わせ先 市上下水道総
務課 ☎22・8477番、F
AX22・4054番



▶彦根市水道事業のマスコットキャラクター「ウォーターくん(左) & みずきちゃん」

湖東定住自立圏（彦根市と愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町との広域連携）の具体的な取り組み

圏域市町でコンピューターシステムの共同利用や共同開発などの取り組みを進めています

圏域では、各市町が同様の事務処理などを行っているにもかかわらず、それぞれ個別に運用しているコンピューターシステムについて、経費の削減、事務の効率化などの観点から、今後開発予定のコンピューターシステムも含め、共同利用や共同開発に取り組んでいます。

なお、愛荘町は、既存システムの更新時から運用を開始する予定です。

また、今年度までに、1市4町の職員が行政情報の共有やメールの送受信ができるシステム「共通事務支援システム」(グループウェアシステム)の運用を開始し、業務の効率化を図る予定です。

今年度の取り組み

コンピューターシステムの共同利用や共同開発等に係る取り組みとして、昨年9月に災害情報などの情報をメールで配信できるシステム「総合情報配信システム」を彦根市、豊郷町、甲良町、多賀町の4市町で運用を開始しました。

利用方法は、各市町のホームページや広報紙でご確認ください。

今後の取り組み

今後は、共同運用ができるその他のシステムも引き続き検討を進めていきます。

問い合わせ先 両情報政策課
☎30・6104番、FAX 22・1398番



職員の人材育成・職員交流の取り組みをすすめています



職員の資質・能力の向上のため、合同研修や業務を通じた職員交流に取り組んでいます。

合同研修は、昨年に引き続き、職員の能力向上と相互啓発を図るための「政策形成能力養成研修」を実施しました。この研修は、約半年にわたる長期研修で、1市4町の係長級職員を中心とした職員が、圏域における行政課題に対応した具体的な政策提言を行うものです。

今年度は25人が4グループに分かれ、龍谷大学の矢野教授の指導のもと、政策をまとめ、昨年の11月に提言を行いました。

消防だより



問い合わせ先 市消防本部予防課 ☎22・0332番、FAX 22・9427番

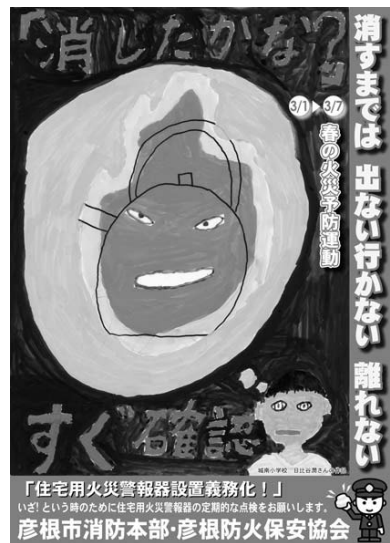
春の火災予防運動

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

3月1日(金)～同7日(木)

火災予防運動は、一人ひとりが火災予防に対する意識を高めることにより、火災の発生を防止し、火災から尊い生命と貴重な財産を守ることを目的としています。

住宅火災 いのちを守る 7つのポイント
①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
②寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
③火災を小さいうちに消すた



▲防火ポスターコンクールで彦根防火安全協会会長賞を受賞した、日比谷潤さん(城南小学校6年)の作品を基に作られた、春の火災予防運動ポスター

平成24年中

火災・救助・救急 事故の発生状況

市消防本部では、管内(彦根市と犬上郡)で発生した火災・救助・救急事故状況を統計にまとめ、公表しています。

火災概要

平成24年中に発生した火災は38件で、前年と比べ49件の大幅な減少となっています(表1)。

表１ 火災			表２ 救助		表３ 救急	
平成 24 年	平成 23 年		出場件数	61	出場件数	5,343
出火件数	38	87	交通事故	35	火災	3
建物火災	16	31	水難事故	8	水難	7
林野火災	0	0	機械事故	4	交通事故	708
車両火災	7	9	建物事故	3	労働災害	47
その他の火災	15	47	その他の事故	11	運動競技	38
出火原因			<div></div>		一般負傷	721
第 1 位					加害	26
放火（疑い含む）	8	31			自損行為	54
第 2 位 たき火	5	13			急病	3,546
第 3 位					その他	193
たばこ 3・こんろ 3		たばこ 8				
死者	1	1	活動件数	26	搬送件数	4,968
負傷者	5	11	救助人員	32	搬送人員	5,093

出火原因は、第1位が「放火・放火の疑い」8件、第2位が「たき火」5件、第3位が「たばこ」3件、「こんろ」3件の順となっています。

昨年1年間で発生した火災は、市消防本部が彦根市と犬上郡を管轄とした昭和49年以来、最も少ない件数となりました。

これは、住宅用火災警報器の普及とそれによる防火意識の高まりや、自主防災会を中心とした夜回りなど地域ぐるみの活動が火災の減少につながりました。

がったと考えられます。

救助・救急概要

平成24年中の救助出場件数は61件で、前年に比べ13件増加し、内訳は、「交通事故」35件、次いで「その他の事故」11件、「水難事故」8件となっています(表2)。

第18回 議場コンサート



彦根市議会の3月定例会の開会日に、議場においてコンサートを開催します。

当日は、午前9時から3月定例会の本会議が開催されます。この機会に傍聴にお越しください。

日時 3月4日(月) 午後1時
場所 彦根市議会議場(市役所5階)
出演 高木充江さん、今堀智子さん
内容 ソプラノとピアノの演奏
曲目 童謡やフランス歌曲など
申込 不要です。直接会場にお越しください。
問い合わせ先 市議会事務局 ☎30・6130番、FAX 22・0906番



話題のひろば

「福豆をいっぞ」 彦根城で節分福豆を配布

2月3日、彦根城天守前（金亀町）で、管理事務所の職員が福豆を配りました。先着100人に「福」を配るこの催しは、平成20年から始まり、今回で6回目になります。

豆が入っている小袋には、ひこにゃんのイラストと「国宝・彦根城」という文字が赤色でスタンプされており、大豆が約20～30粒入っています。

愛知県から日帰りで彦根に来た家族は、「もらえてラッキーです。粋な催しですね」と笑顔でした。



伝統音楽の優雅さを味わう 城陽小で雅楽の演奏体験

ながらも、美しい音色を奏でていました。

2月5日、城陽小学校（甘呂町）で、児童に日本の伝統文化に関心を持ってもらおうと、雅楽の体験学習が行われました。指導に訪れたのは、伝統の装束に身を包んだ滋賀雅楽会のメンバー13人。「鳳笙」「篳篥」「龍笛」などの8種類の楽器の説明をしたり、実際に演奏をしたりしました。

その後、児童はメンバーに演奏の仕方を教わり、慣れない手つき

正しい利用方法を学ぶ ケータイ安全教室

2月7日、高宮小学校（高宮町）で、5・6年生を対象に、携帯電話やインターネットの正しい利用方法について学ぶ「ケータイ安全教室」が開かれました。

「情報端末の便利さと背中合わせの危険性に気づいてほしい」との趣旨で行われ、外部講師が携帯電話の機能、マナーとルール、トラブルの事例などを説明しました。身近なところに潜む危険を紹介する動画の画面を、多くの児童が興味深そうに見入っていました。



バレンタインのプレゼントに ひこにゃん大喜び

ね」など、温かいコメントも一緒に寄せられました。愛情が込められたプレゼントの山を前に、ひこにゃんは大喜びでした。

今年もひこにゃんにバレンタインの贈り物がたくさん届きました。31都道府県、さらにはドイツからも含めて合計228個のプレゼントが送られてきました（2月14日現在）。プレゼントは、魚の形をしたチョコレートや、ひこにゃんを油絵で描いた似顔絵など工夫をこらしたものがいっぱい。プレゼントの半数以上がメッセージ付きで、「チョコ食べてね」「○○（地域名）にも会いに来てね」など、温かいコメントも一緒に寄せられました。愛情が込められたプレゼントの山を前に、ひこにゃんは大喜びでした。



話題のひろば

体も心もホカホカに ウインター・レクリエーション

1月20日、国荒神山自然の家（日夏町）で、大人を対象に仲間づくりを目的にした「ウインター・レクリエーション」が行われました。

参加者は、まずグループに分かれて、室内でレクリエーションをして楽しみ、親交を深めました。午後からは、火おこしや丸太切りなどにグループみんなで協力しながら挑戦しました。

この日は寒さが厳しい日でしたが、ゲームなどをしてすっかり打ち解けて笑顔があふれている参加者は、体も心もホカホカに温かくなっていました。



「バナナで釘が打てた」 子ども科学教室

1月27日、実験や科学の楽しさを体験する「子ども科学教室」が大学サテライト・プラザ（アル・プラザ彦根 大東町）で行われました。この催しは「湖東定住自立圏彦根市サイエンスプロジェクト推進事業」の一環で、彦根市、愛荘町、豊郷町の小学4年生・中学3年生が参加しました。

「超低温・超伝導」というテーマで、液体窒素を使った実験などをしました。液体窒素が入った容器に、バラやバナナを入れると、一瞬で凍りました。

冷凍バナナで釘打ち体験をした児童は「実験は楽しいので大好きです」と笑顔を見せていました。

正しい理解と知識を深める ハンセン病についての講演会

1月28日、城南小学校（西今町）で、ハンセン病に関する正しい理解と知識を深めることを目的にした講演会があり、同校の教職員ら約50人が参加しました。

講演会では、国立療養所大島青松園（香川県）入所者自治会の森和男さんが、小学生のときに発症したことや、療養所の様子などを話しました。

森さんは「子どもにもハンセン病などの差別の問題について授業で教えていただき、啓発に取り組んでもらえたらありがたいです」と話していました。



ユネスコ世界寺子屋運動 教育支援のための募金

2月1日、ビバシティ彦根（竹ケ鼻町）で、「ユネスコ世界寺子屋運動」の一環として募金活動が行われました。

ユネスコ世界寺子屋運動は、紛争や貧困のために教育を受けられないまま大人になった人や、学校を途中退学せざるを得なかった子どもに、読み書きや計算などを学ぶ機会を支援する活動です。

この日は、彦根ユネスコ協会の会員29人が買い物客らに呼びかけ、約4万5千円の募金が集まりました。

集まった募金は、カンボジア・アフガニスタン・ネパール・ラオスでの教育支援に活用されます。



青年団国際交流事業

＜内容＞ 内閣府では、広い国際的視野とリーダーシップを身につけた次代を担う青年を育成するため、国際交流事業の参加者を募集しています。日本青年の代表として、各国の青年と研修・交流を行い、自分を成長させませんか。同事業の詳細は、同事業のホームページ（http://www.cao.go.jp/koyu/）をご覧ください。お問い合わせください。＜申込・問い合わせ先＞ 内閣府青年国際交流担当 ☎03・3581・1181番、円健康福祉部子ども・青少年局077・528・3557番

彦根城博物館の講座 古文書のみかた

＜内容＞ 江戸時代の彦根の古文書をテキストに、古文書の読み方を学びます。＜日程＞ 5月18日・6月15日・7月6日・8月10日・9月14日・10月12日・11月16日・12月14日の各土曜日（全8回） 午後2時～同4時 ＜場所＞ 彦根城博物館（金亀町） 講堂 ＜定員＞

赤十字県民大学

＜内容＞ 健康増進を目的に、長浜赤十字病院の医師による講座を開講します。＜日時＞ 4月20日～平成26年3月8日（全10回） いずれも土曜日の午前10時10分～同11時40分 ＜場所＞ 滋賀県立文化産業交流会館（米原市） 第1会議室 ＜対象＞ 18歳以上 ＜定員＞ 120人（申込者多数の場合は抽選） ＜参加費＞ 無料 ＜申込期間＞ 3月1日（金）～3月22日（金） ＜申込・問い合わせ先＞ 長浜赤十字病院社会課（〒526-8585 長浜市宮前町14-7） ☎0749・63・2111番（内線7025番） ※往復はがきの往信の裏に①郵便番号②住所③氏名（ふりがな）④年齢⑤電話番号、返信の表にも①郵便番号②住所③氏名を書いて郵送

早春の草花観察会

＜内容＞ 早春に芽吹く植物を観察・採取し、野草を調理してこの時期ならではの春の味覚を味わいます。＜日時＞ 3月20日（水・祝） 午前9時～午後1時 ※悪天候の場合

80人（申込者多数の場合は抽選。ただし、初受講者を優先） ＜参加費＞ 500円（テキスト代） ＜その他＞ 申し込みは1人1通 ＜申込期限＞ 3月31日（日）（当日消印有効） ＜申込・問い合わせ先＞ 彦根城博物館学芸史料課（〒522-0061 金亀町1-1） ☎22・6100番、FAX 22・6520番 ※往復はがき往信の裏面に、①『古文書のみかた』受講希望 ②住所③氏名④電話番号を、返信の表面にも①住所②氏名を書いて郵送

点訳・音訳ボランティア 養成講習会の説明会

＜内容＞ ボランティア活動の内容や講習会のスケジュールなどの説明会を開催します。点訳・音訳ボランティア養成講習会の受講希望者は、必ずこの説明会に参加ください。※受講申込書は、この説明会でのみ配布します。＜日時＞ 4月9日（火）、同10日（水） いずれも午後1時40分～同4時 ※どちらかの日に参加してください。＜場所＞ 滋賀県立視覚障害者センター（松原一丁目） ＜対象＞ 点訳・音訳ボランティア養成講習会の受講を

は中止することがあります。＜場所＞ 荒神山周辺・グリーンピアひこね ※午前8時50分までに、園子どもセンター（日夏町）駐車場に集合 ＜持ち物＞ 筆記用具、おにぎりなどの軽食、水筒。持っていれば剪定ばさみ、園芸用スコップ ＜定員＞ 40人（先着順） ＜参加費＞ 100円 ＜申込開始日＞ 3月4日（月） ＜申込・問い合わせ先＞ 快適環境づくりをすすめる会事務局（同生活環境課内） ☎30・6116番、FAX 27・0395番

第10回 市立病院 健康講座

＜内容＞ 市民の皆さんに市立病院のこともっと知っていただき、楽しみながら健康について学んでいただく講座です。医師による講演や、リハビリスタッフによる健康体操などを行います。健康弁当を食べながらのミニコンサートもあります。＜場所＞ 市立病院（八坂町）医療情報センター1階多目的室 ＜日時＞ 3月23日（土） 正午～午後2時45分 ＜申込開始日＞ 3月4日（月） ＜定員＞ 80人（先着順） ＜参加費＞ 500円（弁当・飲み物付

希望する人、点訳・音訳に関心のある人 ＜費用＞ 無料 ＜申込期限＞ 4月5日（金） ＜その他＞ 点訳講習会の開講（5月14日（火）～平成26年2月、月2回の火曜日、定員15人、音訳講習会の開講（5月14日（火）～平成26年2月、月2回の火曜日、定員15人） ＜申込・問い合わせ先＞ 滋賀県立視覚障害者センター（担当 伊東さん、磯崎さん、脇野さん） ☎22・7901番、FAX 22・7890番、Eメール shice2@smile.ocn.ne.jp ※電話か、①名前②参加日（4月9日（火）か同10日（水）のいずれか）を書いて、FAX、Eメールで申し込んでください。 ※Eメールの場合は、件名を「説明会参加」としてください。

彦根城博物館 支援スタッフ

＜内容＞ 彦根城博物館の事業をサポートしていただく支援スタッフを募集しています。さまざまな人と触れあいながら一緒に博物館を盛り上げてみませんか。＜活動内容＞ ①教育普及事業 小学生を対象にした夏休み体験教室の運営スタッフ（体験メニューの準備・指導補助） ②催し物事業 能・

▲第9回の健康講座で、椅子に座りながら簡単にできる体操をする参加者の皆さん



き） ＜申込・問い合わせ先＞ 市立病院 病院総務課 ☎22・6050番（内線3523番）、FAX 26・0754番 ※電話で申し込んでください。

子育て講座 「思い出のページ」写真集作り

＜内容＞ 身近な材料で大切な写真を楽しむ飾りましょう。＜日時＞ 3月19日（火） 午前10時～同11時30分 ＜場所＞ 園子どもセンター（日夏町）多目的室 ＜対象＞ 0～3歳の子ど

おうみ狂言図鑑 2013



演目 【古典】 二人袴、【新作】 続・鮎ずしの憂うつ 【古典】 太刀奪

出演 茂山千五郎、茂山あきら、茂山正邦、茂山童司、丸石やすし、増田浩紀 ほか

※都合により出演者の変更があることがあります。

日時 3月8日（金） 18：30 開演（18：00 開場）

場所 みずほ文化センター（田原町）多目的ホール

入場料 一般2,000円、18歳以下1,000円（全席指定）

入場券 発売中

入場券販売所 みずほ文化センター、ひこね市文化プラザ、平和堂アル・プラザ彦根くらしのサービスセンター、ビバシティ平和堂くらしのサービスセンター

問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111、FAX43-8112



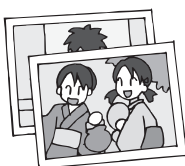
▲彦根城博物館が主催する夏休み体験教室で、狂言師に狂言を教わる児童ら

狂言公演の運営スタッフ（受付、会場案内、会場整理、駐車場整理など） ③調査研究事業 古文書解読ボランティア（当館所蔵の彦根藩井伊家文書などの解読） ※③は、当館開催講座「古文書のみかた」を受講した人または、同程度の解読力を有する人が対象です。登録を希望する人は、事前に学芸史料課「古文書解読ボランティア担当」にお問い合わせください。＜申込期間＞ 3月1日（金）～同22日（金） ＜その他＞ 4月以降に開催する研修に参加していただきます（日程は未定で

す。全ての事業の参加も、希望の事業のみの参加もできます。＜申込・問い合わせ先＞ 彦根城博物館「支援スタッフ」係 ☎22・6100番、FAX 22・6520番

もの保護者 ＜定員＞ 20人（先着順） ＜参加費＞ 無料 ＜申込期間＞ 3月6日（水）～同14日（木）の午前8時30分～午後5時 ＜持ち物＞ 筆記用具、飲み物、写真、写真を貼る台紙、デコレーションに使う飾り（リボン、ボタン、シールなど） ＜託児＞ 20人（先着順） ＜申込・問い合わせ先＞ 園子ども未来室

☎28・1580番、FAX 28・3646番 ※電話か、直接園子どもセンター窓口で申し込んでください。



滋賀県内城郭関連博物館連携講座

シンポジウム

「城の変遷から見る信長の城・秀吉の城・徳川井伊の城」

同じ地域内にある戦国から江戸時代の新旧の城を取り上げ、その変遷や相互の歴史的な関係について、各博物館の学芸員が解説し、あわせて討論を行います。

日時 3月23日（土） 13：00～16：00（受付は12：00～）

場所 彦根城博物館（金亀町）能舞台見所

第1講 「観音寺城と安土城・八幡城」

講師 大沼芳幸さん（滋賀県立安土城考古博物館学芸員）

第2講 「小谷城と長浜城」

講師 太田浩司さん（長浜市長浜城歴史博物館学芸員）

第3講 「佐和山城と彦根城」

講師 渡辺恒一（彦根城博物館学芸員）

定員 125人（事前申込不要、当日先着順）

資料代 300円

問い合わせ先 彦根城博物館 ☎22-6100、FAX22-6520



▲佐和山

行 事 名	日 時	場 所	内 容 ・ 問 い 合 わ せ 先 等
～豊かな郷で心と体の健康を～ 「認知症のきざしに気づく」	3月9日(土) 14：00～15：30	豊 郷 病 院 内科外科待ち合いスペース (犬 上 郡 豊 郷 町) ☎0749-35-3001	認知症の治療・介護に際して、早期に気づくことで介護を楽にする可能性があります。認知症かもしれないという本人の自覚や周囲の注意点を整理していきます。 講 師：成田実さん（認知症疾患医療センター長）
家族のつどい 「ほ っ こ り」	3月12日(火) 13：30～15：30	福 祉 保 健 セ ン タ ー 2 階 第 1 集 団 指 導 室	認知症などの家族を抱える介護者が、介護の情報交換などをする会です。気軽にご参加ください。 囲介護福祉課☎23-9660、FAX26-1768
家族のつどい 「ほっこり・らぶ」			若年性認知症の家族を抱える介護者が、悩み相談や情報交換を行います。気軽にご参加ください。 囲介護福祉課☎23-9660、FAX26-1768
ひこね市民活動センター 情 報 交 換 会	3月15日(金) ①18:00～19:00 ②19:00～21:00	ひこね市民活動センター (金 亀 町) ☎24-4461	①NPO、ボランティアに興味がある人への活動団体の紹介 ②さまざまな分野で NPO、ボランティアの活動をしている人の情報交換・交流会 費 用：300 円と一品持ち寄り（食べ物、飲み物）
平成24年度 福祉用具展示相談会 i n ひ こ ね	3月16日(土) 10：00～16：00	ビ バ シ テ ィ 彦 根 センタープラザ、センターモール (竹 ケ 鼻 町)	福祉用具に関わる専門の人に、福祉用具の選び方や正しい知識を聞くことができます。福祉用具の体験もできます。 滋賀県社会福祉協議会 滋賀県福祉用具センター（担当 濱谷さん） ☎077-567-3907、FAX077-567-3967
しが地域支え合い フ ォ ー ラ ム	3月16日(土) 13：30～15：45	草津市立市民交流プラザ 大 会 議 室 (草 津 市 野 路 一 丁 目)	講 演：「死なせたらアカン！命の灯台・東尋坊からのメッセージ」 茂幸雄（しげ・ゆきお）さん（「自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい」代表） トークディスカッション：「地域における支援活動の現場から」 申 込：3月8日(金)までに、名前、電話番号を書いて FAX で申し込んでください。 滋賀県社会福祉協議会 地域福祉部☎077-567-3924、 FAX077-567-5160
彦 根 朝 市	3月17日(日) 7：00～8：00	い ろ は 松 駐 車 場	販売品：新鮮な季節の野菜、卵、漬物など 販売者：彦根朝市組合 囲農林水産課☎30-6118、FAX24-9676
市 民 公 開 講 座 ～歯周病と糖尿病 その密接な関係～	3月17日(日) 13：30～16：00 (開場13：00～)	ひ こ ね 燦 ば れ す 多 目 的 ホ ー ル (小 泉 町)	講 演：「見直そう糖尿病の生活習慣」～食事、運動、喫煙そして“歯周病”～矢野秀樹（彦根市立病院副院長、糖尿病専門医） 講 演：「糖尿病とお口の病気のお話」～歯周病はお口の生活習慣病～山田剛也（彦根市立病院歯科口腔外科部長、彦根歯科医師会会員） 彦根歯科医師会（担当：堀口さん）☎28-4182
スカーレット・ウィンド・ オーケストラ 第5回「朱音祭」	3月17日(日) 14：00～ (開場13：20～)	ひこね市文化プラザ グ ラ ン ド ホ ー ル (野 瀬 町)	第1部：シンフォニックステージ 第2部：ポップスステージ「スカーレット・エア・ラインで巡るポップス世界旅行」 第3部：交響組曲「彦根」春・夏・秋・冬 スカーレット・ウィンド・オーケストラ（担当：太田さん） ☎090-4301-7538
ひこねエコマーケット 「 夢 畑 」 ～いらないものをいる人へ～	3月17日(日) 10：00～14：00	大 手 前 公 園 (金 亀 町)	リサイクル品、手作りの作品などの市（いち）から、掘り出し物を見つけてください。 リサイクルステーション（銀座町）☎・FAX26-4810 (問い合わせ時間は 10：00～16：00 木・日曜日、祝日は休み)
ひこね元気計画21 ウォーキング歩き隊	3月21日(木) 13：30～15：00	集 合 場 所： 南 地 区 公 民 館 (甘 呂 町)	春を一緒に探しに行きませんか。 ひこね元気計画 21 実行委員会事務局（囲健康推進課内） ☎24-0816、FAX24-5870
パネルシアター	3月23日(土) 14：00～	ふ れ あ い の 館 (八 坂 町) ☎・FAX25-4452	パネルシアターを楽しんで鑑賞します。 対 象：幼児～小学生（幼児は保護者同伴）
平成の芝居小屋「長栄座」 事業～陽春公演～ 伝統と創造シリーズⅢ 「変わりゆくもの 変わらざるもの」	3月24日(日) 14：00～16：00 (開場13：30～)	滋賀県立文化産業交流会館 イ ベ ン ト ホ ー ル 内 特 設 舞 台「長栄座」 (米 原 市 下 多 良 二 丁 目) ☎0749-52-5111	第1部「舞踊三題」、第2部「人間国宝 至極の技」 出 演：人間国宝 山本邦山、人間国宝 常磐津一巴太夫 ほか 入場料：升セット（定員4人）：14,000 円 升バラ・椅子席・棧敷席・車イス席：一般 4,000 円、学生 2,000 円
切り絵作家・ 奥居匡（ただし）さん 切り絵教室	3月24日(日) 14：00～16：00	ひこね市文化プラザ 視 聴 覚 室 (野 瀬 町)	対 象：小学生以上（低学年は保護者同伴） 定 員：30人（先着順） 持ち物：カッター、のり 申 込：電話か、市立図書館の窓口で申し込んでください。 （受付は 3 月 5 日(火) 10：00～） 市立図書館☎22-0649、FAX26-0300
連続講座 わらべうたで 遊ぼう！	3月27日(火)・29日(金) 10：00～10：45	市 立 図 書 館 ☎22-0649 FAX26-0300	対 象：3～6歳の子どもと保護者 定 員：20 組（先着順） 申 込：電話か、市立図書館の窓口で申し込んでください。 （受付は 3 月 12 日(火) 10：00～）

桜の木を保護するための
施肥作業

〈内容〉彦根城の内堀沿いにある桜の樹勢回復と景観保持のために実施する施肥作業をしていただけるボランティアを募集します。〈日時〉3月17日(日) 午前9時30分～2時間程度 ※小雨決行 〈集合場所〉彦根城大手前第2保存用地(滋賀大学テニスコート横・金亀町) 〈定員〉50人 〈問い合わせ先〉囲教育委員会文化財課 ☎26・58333番、FAX 26・58999番 ※直接、集合場所にお越しください。雨天時は、彦根城管理事務所（☎22・2742番）にお問い合わせください。



▲彦根城の内堀沿いの桜の根元に肥料を与えるボランティアの皆さん（昨年の様子）

彦根ユネスコ協会会員

〈内容〉世界平和に貢献できるユネスコ精神の実現に向けて、彦根ユネスコ協会の会員になって活動しませんか。国宝・彦根城などの価値ある文化遺産の保護をはじめ、教育科学、文化などのあらゆる活動を通して世界平和と人類の福祉の促進に取り組んでいきます。この取り組みと一緒に活動していただける人を募集しています。 〈活動内容〉世界寺子屋運動の募金活動、彦根城の世界遺産に向けた取り組み、平和を守る運動など

〈申込・問い合わせ先〉彦根ユネスコ協会事務局（囲教育委員会生涯学習課内）☎24・7974番、FAX 23・9190番、Eメール hikone-unesco@mx.hikone.sci.jp ※申し込みは随時受け付けています。電話か、入会申込書に必要事項を書いてFAX、Eメールで申し込んでください。入会申込書は彦根市ホームページからダウンロードできます。

太極拳をしませんか

〈内容〉心と身体の両方を癒や

す、フィットネスとして太極拳をしてみませんか。〈日時〉4月6日～9月28日 毎週土曜日 午前7時～同40分（雨天中止）〈場所〉金亀公園 藤棚周辺（金亀町）〈参加費〉無料 〈講師〉北川はつ江さん（旧日本武術太極拳連盟公認A級指導員・彦根市武術太極拳連盟）※都合により講師が変わる場合があります。 〈問い合わせ先〉高木・技研特別共同体 ☎21・3923番 ※当日、直接お越しください。

ガスを安全にご利用いただくために **ウイズガス**

屋外に設置されているガス機器は囲まないでください。

屋外設置用の機器は、波板やシートなどで、絶対に囲まないでください。機器を囲むことで新鮮な空気が不足し、ガスの不完全燃焼から一酸化炭素発生の原因となります。中毒症状や、死亡事故に至る恐れがございます。

お客様センター

大阪ガス ☎0120-8-94817

詐欺や悪徳商法に
ひっかからない講座

近年、お年寄りや主婦などを狙った悪質商法や振り込め詐欺などが増加しています。

これらの被害を未然に防止するため、希望する団体を対象に消費生活の出前講座を行っています。お気軽に申し込んでください。



内容 DVDを教材とした講習、消費生活相談員の話、質疑応答

対象 自治会、老人会など

時間 約1時間（9:00～16:00の間）

※時間は調整できます。

場所 公民館など、希望の場所に出張します。

問い合わせ先 囲生活環境課☎ 30-6116、
FAX27-0395

無料相談会

3月21日木曜日 午後1時から開催

要予約 お電話下さい

担当税理士 大辻 正樹・田井 尊之

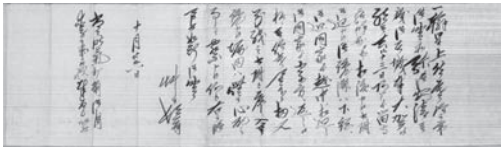
大辻税理士法人

TKC全国会 第二事業部 資産税課

【彦根事務所】滋賀県彦根市平田町410-6
TEL 0749-23-6432(直通)

【草津事務所】滋賀県草津市北中小路5-2 YS&E 3F TEL 077-554-7595
http://www.ooutuji-souzoku-support.com

【開催中】～3月5日(火) **「雛と雛道具」**
3月8日(金)～4月9日(火)
テーマ展「直弼発見! 直弼と大名の交流」



井伊家13代直弼(なおよすけ)は、幕府行事でともに行動した親しい大名や親戚など、多くの大名と交流がありました。直弼と諸大名が公私にわたり交流する様子を紹介します。


ギャラリートーク「直弼発見! 直弼と大名の交流」
3月9日(土) 14:00～15:00
解説: 彦根城博物館学芸員
※事前申し込みは不要です。当日、直接展示室1にお集まりください。

観覧料が必要です

常設展示の名品

常設展示「「ほんもの」との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

3月6日(水)～4月9日(火)
ことうやき そめつけちくりん しちけんじん ずつつはないけ
湖東焼 染付竹林七賢人図筒花生



白磁に呉須(こす)で文様を表わした染付の花生。流麗(りゅうれい)な筆致で、竹林七賢や花弁文、雲文が描かれています。幕末の彦根で制作された湖東焼の優品です。


※3月の休館日はありません。



文化プラザだより

★★★ 注目のイベント ★★★

3月16日(土)・17日(日) メッセホール棟
ひこねフィジカルアート2013「心(いのち)を生きる」



小劇場の魅力を体感!! 2日間の演劇祭開幕!! メッセホールの各所を使って繰り広げられる幻想的な世界、歌あり・踊りありのパワーあふれる4公演を上演します。1階展示ロビーでは無料公演も両日開催。どうぞお楽しみに!

【出演劇団】
劇団アンゲルス / このしたやみ
東京 NOVUS / 野外劇団楽市楽座

自由 【1Day フリーパス】一般 2,300 円 (学生 1,500 円)
【1 回券】一般 1,200 円 (学生 800 円) 【発売中】
※未就学児は膝上鑑賞無料(席が必要な場合は学生券が必要です)
※詳しくはひこね市文化プラザにお問い合わせください。

3月1日(金) 19:00～ エコーホール
金亀亭第12回落語ライブ **「桃月庵白酒・古今亭文菊二人会」**
指定 一般 3,500 円 SP 会員 2,000 円 【発売中】

3月2日(土) 16:00～ グランドホール
WORLD MUSIC TRIP vol.9 ジブシー・ジャズ
「ストロクロ・ローゼンバークトリオ」
指定 一般 4,800 円 WMT 会員 4,000 円 SP 会員 2,000 円 【発売中】

3月3日(日) 17:00～ グランドホール
谷村新司 トーク&ライブキャラバン**「ココロの学校」**
～音で始まり、歌で始まる～
指定 一般 5,500 円 【発売中】

3月の休館日 4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

3月9日(土) 14:00～ エコーホール
エコーメモリアル・チェンバー・オーケストラ演奏会
自由 一般 3,000 円 高校生以下 1,000 円 ※当日券各 500 円増 【発売中】

3月20日(水・祝) 14:00～ グランドホール
ひこね市民大学講座 特別編 第2講 **鳥越俊太郎 講演会**
自由 一般 1,800 円 SP 会員 1,200 円 【発売中】

3月23日(土) 19:00～ メッセホール
ひこね市民大学講座 **歴史手習塾 セミナー15-3**
「謎解き 八重の桜」- 時代考証から NHK 大河ドラマを読み解く -
なぜハンサムウーマンと呼ばれたのか - 新島八重の生涯
自由 一般 1,200 円 SP 会員 700 円 【発売中】

4月20日(土) 17:00～ メッセホール
メッセ・ライブ vol.2 スウィング・ジャズ・ナイト
出演 **キングコロムビア**
自由 一般 3,000 円 学生 500 円 【発売中】

4月21日(日) 14:00～ エコーホール
オペラ物知り講座 in ひこね vol.6 **喜歌劇「こもり」**原語上演(字幕あり)
自由 前売 2,000 円 当日 2,500 円 ペア 3,500 円(※前売のみ) 【発売中】

6月15日(土) 16:00～ エコーホール
OEK 〆ひこね Cool Japan Concert episode.9
俳優 **西村雅彦** with オーケストラ・アンサンブル金沢 弦楽四重奏
「ベートーヴェンと3人の女たち」
指定 一般 3,500 円 OEK 会員 2,900 円 SP 会員 1,500 円 [3月17日発売]

7月21日(日) 12:30～/17:00～ グランドホール
松竹大歌舞伎「番町皿屋敷」ほか
出演 **中村吉右衛門**
指定 一等席 6,500 円 二等席 5,000 円 三等席 4,000 円 SP 会員 2,000 円 [4月7日発売]

※WMT 会員…ワールド・ミュージック・トリップ会員
※OEK 会員…OEK 〆ひこねサポーターズクラブ会員
※SP 会員…スチューデント・パスポート会員(登録無料の学生会員)

松平容保といえ、幕末の会津藩主で、京都守護職として幕末の京都で治安維持に努めたものの、戊辰戦争では新政府軍から攻撃され、白虎隊の悲劇を生んだことで著名です。会津藩松平家と井伊家は、江戸時代初期から関わりが深く、同時代に生きた容保と井伊直弼も親しい関係にありました。

大名社会の先輩・後輩 井伊直弼と松平容保

会津藩松平家は、2代将軍徳川秀忠の庶子である保科正之を祖とする家で、東北地方の要衝である会津23万石を治めました。正之は4代将軍家綱を補佐しましたが、これは井伊家2代直孝が3代将軍家光を補佐したのにならったものです。以来、両家は将軍を補佐する重臣として同様の立場にありました。幕府では、類似した家格の大名を「殿席」というグループに分けていましたが、両家と高松藩松平家の三家は常に「溜詰」という殿席にありました。同じ殿席の大名は江戸城での儀式・行事で一緒に行動するため、直接会うことが多い関係でした。特に、溜詰は將軍の政務顧問的な役割も担い、相談して老中へ意見を述べることもありました。

さて、直弼は、弘化3年(1846)2月に彦根藩の世継ぎとなり、溜詰の一員として江戸城での出仕を始めます。このとき溜詰の長老だったのが、容保の先代に当たる会津松平家8代の容敬でした。当時41

歳で藩主就任から20年を超えるベテランです。直弼は先輩大名の容敬と親しく交わり、大名としての素養を学んだようです。

弘化3年12月7日、直弼と高松藩主松平頼胤は松平容敬の屋敷に招かれます。この日、容敬の養子となった容保が溜詰として幕府へ出仕することを認められたことを祝う宴会が催されました。容敬は直弼に酒を注ぎながら、11歳の容保のことを頼むと頭を下げたことでしよう。直弼はのちに家臣への手紙で、容保とその姉の二人の子持ちになった気分だと伝えていきます。直弼は容保に対し、親のようにその成長に関わり、一人前の大名となるよう指導しようとしたのでしようか。

松平容敬は嘉永5年(1852)に死去し、容保は18歳で会津藩主を継ぎます。直弼は、容敬から学んだことを容保にも伝えたことでしよう。容保から直弼に宛てた自筆書状が今に伝わります(写真)。安政7年(1860)正月7日、直弼の正四

位上への位階昇進を祝ったものです。大老として尽力する直弼に対し、将軍徳川家茂が勤功を賞しての昇進でした。会津に在国中の容保にも常に江戸の情報は入っており、直弼の労苦も聞き及んでいたことでしよう。容保には、将軍のために尽くしてそれが評価された直弼は、將軍補佐の家柄にとってあるべき姿と映ったのではないでしようか。

直弼は、同年3月に桜田事変で命を落とし、その2年後の政変により、容保は従来井伊家が担っていた京都守護の役割を増強させた京都守護職に就きます。容保は家臣に反対されながらもこれを引き受け、戊辰戦争では將軍の傍を離れず、將軍への忠誠を貫きます。容保がこのような思考を形成した根底には、直弼の影響が少なからずあったことでしよう。

(彦根城博物館学芸員 野田浩子)

写真の資料は、テーマ展「直弼発見! 直弼と大名の交流」で3月8日(金)から4月9日(火)まで展示します(期間中無休)。



松平容保自筆書状 井伊直弼宛



特選作品紹介



作文・一般の部

僕の命

阿部 亮介さん
(滋賀県立盲学校高等部1年)

一九九六年八月二日午後一時五分、僕は産まれました。体重は、二八五グラムで身長は四八センチとほぼ平均的に近い可愛らしい赤ちゃんでした。

その日の午前六時、母はいつもと違う痛みを感じ、病院に行きました。陣痛です。病院につくと、出産を控えている人たちが多く、母は控室で「その時」を待っていました。陣痛の間隔は「その時」が近づくにつれて短くなり、さらに痛みも増していきました。母が痛みと闘っている中、家族はというと父と兄は母を心配し腰をさすったりしてい

たそうです。そして姉は母を心配そうな目で見つめていました。

それからしばらくすると、母は分娩室へと行きました。分娩室に入ると、まず胎児の心音が確認されました。すると心音は良好、とても元気でいつ生まれても大丈夫な状態でした。それが終わると先生や看護師さんたちはほかの分娩室へ行ってしまい、母の側には初めて出産に立ち会う父だけが残されました。その時のことを父に聞いてみると、「早く無事に産まれてきてほしい気持ちでいっぱいだったなあ」ということでした。

どの位の時間が経ったことでしょう、母は出産までの時間を「とても長い時間に感じられた」と言っていました。そしてついに出産のときが来ましたが、異変があり、僕の心臓は母のおなかの中で止まっていた。母の意識は薄れかけていました。先生たちはとても慌てている様子で

母に酸素マスクをつけ、「帝王切開！帝王切開や！帝王切開じゃ間に合わへん！」「鉗子でひっぱり出せ！」「お母さんのお腹をみんなでおさえるんや！早く！」。先生たちは必死になって僕と母を助けようとしていました。先生たちが母のお腹を上から押さえてみ、僕の頭を鉗子でひっぱりだしてくれてやっと僕は産まれました。普通なら大きな産声を上げる所を僕は産声を出せずにいたそうです。顔や体は黒紫に染まりぬいぐるみのようにだらりとしていました。

先生はすぐさまへその緒を切り、のどに管を入れ詰まっていた羊水などを吸引し、足を逆さ持ちにして、背中をパンパンと叩き、心臓マッサージを繰り返して、数分後僕はとても弱弱しく、か細い産声を上げました。周りにいた先生達は安堵の表情で胸をなでおろし、拍手で僕を祝福してくれ、両親は僕の小さな小さな産声を聞いて涙していました。

Brasilへようこそ!



第41回 知らなければ不合格!?

4年も日本にいればカルチャーショックもなくなるであろうと思っていましたが、まだまだありますね。

大学入試の準備物について、友人と話をしていた時のことです。私が「学生の頃、大学入試のために持っていくものは、受験票、身分証明書、鉛筆、消しゴム、ボールペン、水にチョコレートかシリアル」と言うと、最後の「チョコレートかシリアル」を言ったとたん、驚かれました。

ブラジルの大学入試のとき、他の受験者に迷惑にならないようなものであれば、試験中にお菓子などを食べることが許される学校もあるからです。

私が受験したときも、先生から「おなかをすかせて試験ができないなんてことにならないよう、お菓子を持っていくこと」と、注意を受けたのを覚えています。

同じく大学入試の話で、私が驚いたことは、日本では「解答を鉛筆で書く」ということです。ブラジルでは、小論文の下書きなどは鉛筆で書けても、提出するときにはボールペンで書いていないと失格となるからです。

ここまで話すと、次の質問をされました。「えっ? ボールペンで書くの? 間違ったらどうするの?」

この質問自体が、私にとっては大きなカルチャーショックでした。最初は、どうしたらいいのかわからず、すぐに答えが出なかったのですが、よくよく考えると、ある年齢から学校でノートをとるのもボールペンのみになり、間違えても二重線、あるいは修正液を使うようになります。

しかし、修正液や修正テープは授業中には使えても、大学入試当日にそれらを持ち込むことは禁止されています。一度書いた答えを変えることは、「カンニングしたこと」になるからです。

ですから、大学入試の解答は、ボールペンで書くものであり、解答用紙への記入や小論文の内容を「間違える」という概念がただ単に「ない」という結論になるのかと思います。

このように、違いに直面しないと、自国では当たり前だと思っていることが、他国では当たり前ではないということに気づきにくいのかもかもしれません。

今後もまだまだカルチャーショックが続く予感がします。カルチャーショックは、私の視野を広げてくれる貴重な教材です。次はどんな教材にめぐりあえるのか、楽しみでもあります。皆さん、これから日本の習慣についてお話を聞かせてください。



【彦根市国際交流員 平田エジナ】

ゴミの減量と資源化トピックス

第3回 家庭のごみが変わ身! ハリサイクル

日頃、どんなごみを捨てていますか。ごみを捨てる前に、もう一度リサイクルできないか考えてみましょう。

毎日、なにげなくごみを捨てていますが、ひと工夫することで役立つものに変身します。今回は家庭でできる簡単なアイデアをご紹介します。



手袋を家具の足に

使わなくなった手袋の指の部分の指を切って、椅子などの家具の足にかぶせておくと、床に傷がつくのを防ぎます。

古新聞で窓ガラスを磨く

新聞紙はインクがつやを出し、汚れをつきにくくするため、ガラス磨きに最適です。水に浸して固く絞った新聞紙でガラスの汚れを取ってから、乾いた新聞紙で拭きます。

バスタオルやシーツをバスマットに

古いバスタオルやシーツ

聞きました。自分が産まれてきたことに深く考えさせられ、命の大切さ、尊厳、そして自分が生きているのは多くの人達によって支えられ、生かされていると気付かされました。自分の命も他人の命も粗末に扱ってはいけない、大切な命だと改めて思いました。

選評
親・兄弟から自分が生まれてきたときの様子を聞き、命の大切さを一層感じられたことでしょう。病院内での出産直前の緊張の様子や産声をめぐる不安、産後の感動と拍手、母親の安堵と感謝の涙。人の命は地球より重いといわれます。ひとつの命の重さをつくづく感じます。

ポスター・中学生の部



炭田 紗佳さん (南中学校1年)

などは、適当な大きさにたんで縫い合わせてバスマットとして再利用できます。

牛乳パックでブロックを作り、子どもの遊び道具に

牛乳パックの中に新聞紙を詰めると、丈夫なブロックができます。組み合わせで子ども用の洗面所の踏み台や椅子を作れます。

地域のリサイクル活動を支援しています

彦根市では、地域のリサイクル活動の推進などを支援するため、子ども会・自治会・PTA・老人会などの団体が新聞・雑誌・段ボール類・紙パック・繊維類の集団回収を行った場合に、奨励金を交付しています。

問い合わせ先 困生生活環境課

☎30・6116番、FAX 27・0395番



健康だより

市 健康推進課(平田町・福祉保健センター)
☎24-0816、FAX24-5870

すくすく ベイビー



藤本莉愛ちゃん
(平田町)



藤田将羽真ちゃん
(野田山町)



伊藤浩亮ちゃん
(里根町)



ひこね元気計画21
マスコットキャラクター
“コンキー君”

らくらく禁煙相談

日時 4月10日(水)
9:00～、10:00～、
11:00～
場所 福祉保健センター1階
定員 3人(予約制)
内容 ●たばこへの依存度が
分かる検査
▶肺の汚れ度チェック
(呼気中の一酸化炭素の濃
度測定)
▶たばこの依存度チェッ
ク(尿中ニコチン濃度検査)
●たばこのやめ方について
のアドバイス



すくすく相談

変更します
「すくすく相談」の名称・内容

「すくすく相談」は、4月1日
(月)から「乳幼児個別相談」に名称
を変更し、個別相談に重点をおい
た内容に変更します。

詳しくは、3月15日号に掲載す
る予定です。



BCG予防接種

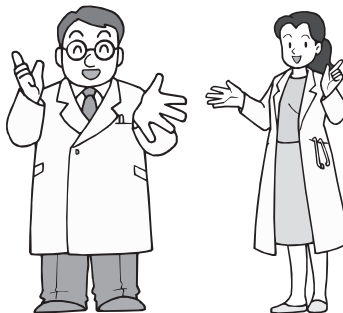
現在、福祉保健センターで集団
接種を行っているBCGの予防接
種は、4月1日(月)から医療機関で
受ける個別予防接種に変わります。

接種を受けることができる医療
機関は、広報ひこね3月15日号に
掲載する予定です。

また、BCGの対象年齢も、4
月1日(月)から下表のとおり、変更
になります。

	3月31日まで	4月1日から
対象年齢	生後6か月を むかえるまでの間	生後1歳を むかえるまでの間
標準的接種期間 (受けるのが望ま しい期間)	生後3か月から 生後6か月に達するまでの 期間	生後5か月から 生後8か月に達するまでの 期間

急病のときは休日急病診療所へ
日曜日、祝日の急病のとき、ま
ずはお越しください。
時間 午前10時～午後7時(受
付は午後6時30分まで)
場所 福祉保健センター1階
問い合わせ先 彦根休日急病診
療所 ☎22-11119番



消費生活相談窓口つうしん

第50回

アパートなどへの入居前に、現状確認をしましょう

市内で最近起こった相談事例の情報をお伝えします。

息子が大学を卒業するため、4年間住んでいたアパートを退去することになった。退去時のチェックに立ち会った事業者から、「壁のクロスの汚れについて修繕が必要」と言われた。「必要な費用は敷金から差し引く」と言われたが、1か月後に「敷金では足りない」と追加の請求書が届いた。支払わないといけないのだろうか。

アパートなどを借りる場合は賃貸契約をしています。この契約書の中には、「明け渡し時の原状回復」についての条項があります。

「原状回復」とは、明け渡し時に借りた部屋を契約前の状態に戻す義務のことです。

しかし、入居したときと同じ状態に戻すことではありません。時間の経過や通常の使用による汚れなどは、そのまま引き渡せばよいと考えられています。

事例の場合、例えば冷蔵庫

庫などの後部の壁面の黒ずみであれば、通常の使用によるものと考えられています。

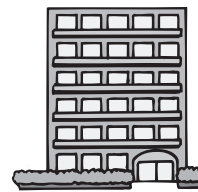
しかし、タバコなどのヤニや臭いが付着している場合は、通常の使用による汚損を超えるものと判断される場合が多いと考えられています。

賃貸契約を交わすときには契約書をよく読み、分からないときは納得がいくまで説明を受けましょう。トラブルを防ぐためには、入居前の確認が一番大切です。入居前には、床やクロ

スなどの現状を確認して写真を撮っておくことで、それを基に明け渡し時に事業者と話をすることが出来ます。明け渡しの点検時には、契約書を基に事業者と現状回復が必要な場所の確認をしましょう。立ち会ってもらえなければ、写真を撮っておくことをお勧めします。

国土交通省が、民間住宅に関する『原状回復をめぐるトラブルとガイドライン』を公表していますので、ご活用ください。

分からないときは、消費生活相談窓口にお問い合わせください。



彦根市消費生活相談窓口 ☎30-6144番
(午前9時～正午、午後1時～同4時15分)
消費者ホットライン ☎0570-064370番
(午前9時～午後4時)
警察(警察相談専用電話) ☎#9110番



『原状回復をめぐる
トラブルとガイドライン』再改訂版
<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/torikumi/honbun2.pdf>



＜ 告 告 欄 ＞

借金 クレジット・サラ金・過払請求
のお悩み解決します
こんなことで
悩んで
いませんか?
・誰にも相談できず夜も眠れない
・借金が不安で仕事も手につかない
・返しても返しても少しも借金が減らない
・完済しているものもあるんだけど
・借金を整理してもう一度出直したい
相談無料 秘密厳守 分割払可能
あい湖司法書士事務所 司法書士/
ひと 飛渡あけ子
通話 0120-001-694 勇気を出してご相談ください!!
無料 TEL 077-527-0023
大津市京町3丁目3-1 A&M・OTSUビル2F(京町3丁目交差点角 JR大津駅徒歩3分)

当日入学特典
入学金
40%OFF
2013春 幼児リトミック
無料体験レッスン受付中!
《開催教室》平田教室 彦根ベルロード、ブルドック向い
1歳児 ケーちゃんランド (対象) H23.4.2～H24.4.1生 3/12(火)・19(火) 10:00～
2歳児 くるくるクラブ (対象) H22.4.2～H23.4.1生 3/12(火)・19(火) 11:00～
3歳児 ビコルカーど (対象) H21.4.2～H22.4.1生 3/12(火) 15:00～
お問い合わせ カワイ音楽教室 彦根事務所 ☎0120-34-0227
受付時間: 火曜日～土曜日 AM10:00～PM4:00
お申し込みは e-mail: hikone@music.kawai.co.jp (彦根市役所前) 彦根市佐和町7-12

リフォームの知っておきたい予備知識 無料
市民講座 塗り替えセミナー
開催日: 3月23日(土)、30日(土)
開演時刻: 午前10時～12時(受付: 9時30分)
開催場所: ひこね市文化プラザ
主催: 一般社団法人 市民講座運営委員会
協賛: プロタイムズ彦根店 有限会社 彦根塗装
0120-359-666
FAX 0749-23-9661
www.hikone-p.co.jp

アットホームな事務所です。お気軽にご相談ください。
遺産相続 遺産分割協議書作成、遺言書作成、相続登記、相続放棄など
成年後見 判断能力が衰えた方の財産管理、成年後見、任意後見、法定後見 など
借金問題 自己破産、個人再生、任意整理、過払い訴訟など
ライフプランニング 住宅ローン相談、生命保険の見直し、不動産運用、相続対策など
司法書士・ファイナンシャルプランナー事務所
おうみ アットホーム 事務所
代表司法書士・FP 松田 勇夫
0120-630-649 ☎0749-21-4388
〒522-0074 滋賀県彦根市大東町2番39号 MSビル4F
おうみ@法務 検索

3月は自殺対策強化月間です

平成24年中に自殺した人は2万7、766人（警察庁発表）で、平成10年以来15年ぶりに3万人を割り込みました。しかし、それでも毎日76人もの尊い命が失われていることになります。

彦根市でも毎年20人前後が自殺しており、その防止対策に努めています。

内閣府の意識調査では、国民の約20人に1人が「最近1年以内に自殺を考えたことがある」と回答しています。

自殺の問題は、国民の誰もが当事者となりうる大きな社会問題です。自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、誰にでも起こりえることだといえます。

自殺の原因には、経済や生活の問題、健康の問題、家族の問題などいろいろですが、誰かが気づいて話を聴き、適切な相談窓口につながれば、多くの自殺は防ぐことができます。

問い合わせ先 障害福祉課 ☎27-9981番、FAX26-1767番

自殺対策の講演会

「話を聞くとってどんなこと
～大切ないのちを守るために～」

「生きるのがつらい」と相談を受けたら、そのときあなたはどうしますか。誰もが自殺に追い込まれないために、悩みを持っている人に気づいたら、あなたができることを考えましょう。



講師 原田小夜さん
(聖泉大学看護学部准教授)

日時 3月23日(土)
13:30～15:30

場所 ビバシティ彦根（竹ヶ鼻町）
ビバシティホール

申込 不要

費用 無料

問い合わせ先 障害福祉課
☎27-9981、FAX26-1767

あなたの命を救いたい

「いのちと暮らしの
相談ナビ」

<http://lifelink-db.org/>

さまざまな悩みを抱え、一人で苦しみつづけ、生きる道を見失いかけているあなた、「いのちと暮らしの相談ナビ」サイトに、アクセスしてみてください。

携帯電話やスマートフォン、パソコンから、24時間いつでも、生きるための支援策や窓口（彦根市の窓口も含みます）が簡単に検索できます。

▶ 「いのちと暮らしの相談ナビ」サイトのQRコード



**彦根仏壇の伝統にふれる
金箔押し体験**

1月18日、鳥居本中学校（鳥居本町）で、地場産業のひとつである彦根仏壇の伝統にふれる金箔押し体験学習が行われました。

彦根仏壇の伝統工芸士4人が講師となり、仏壇の製作や金箔押しの仕方を説明したあと、生徒に指導しました。

金箔はとても軽いため、生徒は金箔を筆で押さながら慎重に貼り付けていました。

銅で作られた亀の型に金箔を貼り付けた生徒は「貴重な体験ができてよかったです」と喜んでいました。

人口と世帯数

平成25年2月1日現在

人口	112,636人（－ 32）
男	55,605人（－ 35）
女	57,031人（＋ 3）
世帯数	44,565世帯（＋ 23）

（ ）内は前月との比較

表紙の写真